



いよいよ今月から、ごみステーションで充電電池の収集が始まります。事故が無く安全に収集・処理をするために、9月号に続きもう少し詳しく充電電池についてお知らせします。

出し方の

おさらい



こっちもチェック！

「ThinkECO 令和4年9月号
(充電電池の収集を始めます)」



・ 収集日は **危険ごみ（月1回）**



・ 出す前に **絶縁処理をする**

→ 事故防止のため、
電極部分を覆って
ください。



・ 出す時は **品目ごとに分ける**

・ 充電電池が取り外せないものは **そのまま出す**

※ただし、大きさが20cmを超えるものは安全に収集できないため、
ごみステーションには出せません。

ごみ・環境総合案内所 **クリーンエコ** までお持ちください。



乾電池と充電電池は別の品目です

そのため、ごみステーションに出す際も、別の袋で出さなければいけません。

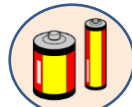
「スプレー缶・
カセットボンベ」



「蛍光管・
蛍光灯」



「乾電池・水銀使用製品」



「ライター」



「充電電池（小型充電式電池）」

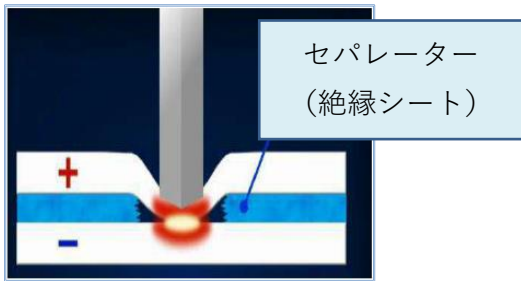


充電電池が取り外せないものは
充電電池と同じ袋で出せます！

※充電電池とは、繰り返し使うことができる電池です。



発火の仕組み



リチウムイオン電池などの充電電池は、外部からの衝撃などにより正極と負極が接触すると、**発熱・発火**することがあります。

どのようなとき危険なの？

🔥 ゴミを集めるとき

ごみは一度にたくさん積めるようにパッカー車と呼ばれる車両で**圧縮**します。 **発火の危険**



→ 充電電池を含めた危険ごみは、平ボディトラックと呼ばれる車両で圧縮せずに収集します！

🔥 ゴミを処理するとき

➡ **燃やせるごみ** に混入すると・・・

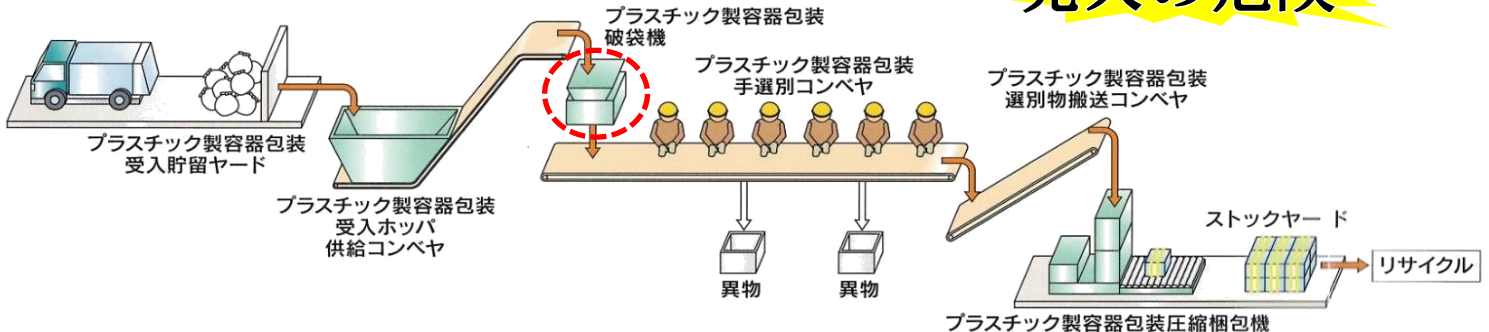
収集したごみが安定して焼却できるように、クレーンを使って**かくはん** **攪拌**します。 **発火の危険**



➡ **燃やせないごみ** に混入すると・・・
資源物を取り出しやすくするため、細かく**破碎**します。 **発火の危険**

➡ **プラスチック製容器包装** に混入すると・・・

袋を破くため、破袋機で**圧力**をかけます。 **発火の危険**



大事故につながるので、他の品目には

充電電池を絶対に混入させないで！！

【家庭ごみに関するお問い合わせ先】

市役所 市民環境部 廃棄物対策課 ☎：(代表) 0126-23-4111 (内線2141、2142、2143)
(直通) 0126-35-4395